

## ○ 東京都食育フェアに TOKYO X と戸板女子短とのコラボで参加—ミートコンパニオン

ミートコンパニオンは11~12日、東京都渋谷区の代々木公園ケヤキ並木通りで開かれた「第11回東京都食育フェア」(主催:東京都)に参加した。「楽しみながら食を育もう!」をテーマに、食育に関する展示・試食・販売や、体験コーナー、ステージイベントが行われる同イベント。今回同社は、東京都のブランド豚「TOKYO X」の試食やパネル掲示を通じて、その生産理念である安全性(Safety)・生命力学(Biotics)・動物福祉(Animal welfare)・品質(Quality)の4つの考え方「東京 SaBAQ」や、おいしさの追求の取り組みをはじめ、今年で2年目を迎える戸板女子短期大学との産学官連携プロジェクトの取り組みを紹介した。

ミートコンパニオンは昨年から、戸板女子短期大学食物栄養科との産学官連携プロジェクトを通じて、TOKYO Xを使ったレシピの共同開発に取り組んでいる。この秋にはハロウィン限定メニュー「TOKYO Xミートバームクーヘン」を開発し、同社が運営する七輪牛タン・鉄板バル「DANRAN亭」で販売した。



今回のフェアでは、学生がキャンパス屋上で育てたハーブ(ローズマリー、タイム、オレガノ)を

使ったハーブソルトで味付けしたTOKYO X肩ロースのローストポークが試食で提供され、同大学の学生たちが来場した家族連れなどに振る舞った=写真。1日当たり数百食分を用意していたが、午後2時早々には予定分がなくなるほどの人気ぶりだった。

また、来場者のなかにはTOKYO Xのブランド名を知っている人も多く、ブースに立ち寄り、「東京 SaBAQ」の4つの理念やおいしさの秘けつを紹介したパネルやスタッフの説明に興味深そうに聞き入っていた。